

いかなる事業も成功と失敗を分かつのは、トップの人物如何で決まる！

万世に通ずる“会社の根本土台”を創るための本質を学ぶ！ <明君修養編>

明君と賢臣は善悪正邪の根本なり、人は明君と賢臣を見ることで従う！

『理非』（道理に適っているかどうか）を見据えて、『義』（善悪正邪）を軸にした判断であれば、経営に間違えることはありません。

しかし、『義』だけでは『利』を上げることができません。

そのために、『義』による『利』の実現を、正道商いたる『商人道』によって成していくことで、『三方よし』（売手よし・買手よし・世間よし）を具現化でき、次の100年も貴社が当然のこととして存続できる(している)のです。

これまでのセミナー形式ではなく、事前配布資料の概要を説明・解説し、参加者全員にて更なる中身を議論・検討しながら確認・修得していく方式です。

そのために、各回の資料を事前にご提供しますので、最低でも一読をお願いします。

講義による習得ではなく、議論・検討中心による確認・修得のため、少人数での開催になります。

第1回	<p>明君としての“道理と帝王学”の修養</p> <p>～ 経世済民(世を^{おさ}め、民を^{すく}う)の本質を学ぶ ～</p> <p>事前必読資料 抜本塞源論 貞観政要(抜粋)</p>
第2回	<p>賢臣育成のための“道徳と学問”の修養</p> <p>～ 日本人の精神基盤“道”と“教学”の根本を学ぶ ～</p> <p>事前必読資料 擬対策&理財論 明君家訓</p>
第3回	<p>正道商いの根本“商人道”の修養 <その1></p> <p>～ 徳川三大改革を乗り越えた商人の“生き様”を学ぶ ～</p> <p>事前必読資料 商家の家訓&商訓集</p>
第4回	<p>正道商いの根本“商人道”の修養 <その2></p> <p>～ 日本的経営の原点たる“商人道”の本質を学ぶ ～</p> <p>事前必読資料 第3回と同じ資料</p>

第1回 (3時間)	<p>明君としての“道理と帝王学”の修養 ～ 経世済民(世を^{おさ}め、民を^{すく}う)の本質を学ぶ ～</p>
	<p>1. 道理(理非) 2. 帝王学 (1) 明君とは (2) 明君と暗君の違い (3) 明君の条件(明君像) (4) 治国平天下 など</p>
第2回 (3時間)	<p>賢臣育成のための“道徳と学問”の修養 ～ 日本人の精神基盤“道”と“教学”の根本を学ぶ ～</p>
	<p>1. 道徳(是非) (1) 武士の存在意義 (2) 武士道の精神 2. 学問(知行合一編) (1) 山田方谷 (2) 陽明学と朱子学 3. 学問(賢臣育成編) (1) 武士の幼少期教育 (2) 幕末の志士の教育 (3) 次世代層の育成方法</p>
第3回 (3時間)	<p>正道商いの根本“商人道”の修養 <その1> ～ 徳川三大改革を乗り越えた商人の“生き様”を学ぶ ～</p>
	<p>1. 参考にすべき商人と家訓・商訓 (1) 商人の歴史と近代的商人 (2) 日本的経営の原点(現代的商人) 2. 商人道の本質を学ぶ <本質(基)編> (1) 社会(世の中)の道理を知るべし (2) 商人の本分(理)を守るべし</p>
第4回 (3時間)	<p>正道商いの根本“商人道”の修養 <その2> ～ 日本的経営の原点たる“商人道”の本質を学ぶ ～</p>
	<p>1. 商人道の本質を学ぶ <本質(基)の準ずる編> (1) 正道商いをせよ (2) 本業に徹せよ (3) 従業員を大切にせよ (4) 始末と算用に知恵を絞れ (5) 子孫よ、先祖の忠告(家訓)を守れ (6) 分家、別家の義を遂行せよ 2. 今後の具現化 (1) 社是と社訓 (2) 人物育成の制度と仕組み</p>

万世に通ずる会社の“根本土台”を創る

企業100年計画 株式会社